

野迫川村における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和5年度		計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度			
活用額（円）	133,882,080	34,907,523	168,789,603	77%	未執行額は、令和7年度導入の新ボイラー及び新生産施設整備、新の地産地消による資源循環体制（小規模林利用による地域内エコシステム）構築等に充てる。これら一連の施策により、譲与税の受入と活用の均衡を図りつつ、持続可能な森林経営を確立する方針である。
譲与額（円）	159,264,000	58,957,000	218,221,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		主な事業内容
		うち 森林環境譲与税		
森林整備	施業放置林整備事業 森林地番図作成等	15,510,000	15,510,000	村と協定を締結した施業放置林等（20ha）に対し、本数率で30%以上の間伐を実施。対象森林については森林経営管理法に基づき意向調査を踏まえて抽出している。
人材育成	林業イノベーション現場実装実験 林業従事者物品等購入補助金 林業振興WebPR媒体作成等	11,374,523	11,374,523	労働生産性および林業経営の収益性の向上実現を目指し、プローション活用の実験を行った。林道から現場まで苗木・資材等をプローション運搬し、省力化・軽労化、コスト削減効果を検証した。
木材利用	地域内エコシステム構築 に係る設計業務等	8,023,000	8,023,000	地域内エコシステム構築に向け、薪利用ボイラー導入における原料供給および製造体制構築に向けた調査、宿泊温浴施設への導入費用および経済性、CO2削減効果、経済効果等の調査を行い、薪ボイラー設置に係る実施設計書、図面等を作成した。
	基金積立	24,049,477	24,049,477	野迫川村森林環境保全基金
	合計	58,957,000	58,957,000	

■今後の実施計画

○地域内エコシステムの出口強化事業 （奈良県混交林誘導整備事業との連携）

本事業は、村内薪ボイラーへの燃料用材供給に係る搬出を支援し、地域内での資源循環体制を構築することを目的とする。具体的には、奈良県混交林誘導整備事業のスキームを活用し、村有林（5ha）において小面積帯状択伐を実施することなどで、広葉樹を含む混交林・複層林への誘導を図る。また、搬出については村の自主事業として実施し、両事業の連携による相乗効果を創出する（年間約1,000万円）。右写真は施業地の様子。



○林業従事者研修及び資格取得等促進支援事業費補助金

村内の林業従事者らが高度な技術や資格を取得するための講習の受講等に要する費用について補助金を交付する。通常の技能講習、特別教育、安全教育のほか、民間事業体（アールポート®トローニング研究所=ATTI）が行うアールポート養成講座等も対象にしている。全額補助。上限300千円/人



（講習参加者による高所伐採）

（村内で開催した刈払機取扱作業安全衛生教育）